

有効成分イソチアニルを含有する農薬の使用方法

1. 登録番号22698：スタウトダントツ箱粒剤

(クロチアニジン1.5%・イソチアニル2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	イソチアルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病 いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ フタオビコヤカ ニカメイチュウ イネヒメハモグリハエ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	4回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
	高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)						
	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ フタオビコヤカ ニカメイチュウ イネヒメハモグリハエ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種時(覆土前)~移植当日				
	高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)						
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種時(覆土前)				
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ	1 kg/10 a	移植時	1回	側条施用	4回以内(直播でののは種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(直播でののは種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クチアジンを含む農薬の総使用回数	イザアールを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稻	いもち病 イネズミムシ イネトヨイムシ	1 kg/10 a	は種時	1回	は種同時 施薬機を用いて 土中施用する。	4回以内(は種時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(は種時までの処理は1回以内、本田では2回以内)

2. 登録番号 22699 : スタウトダントツ箱粒剤 0.8、
登録番号 22700 : ツインターボ箱粒剤 0.8
(クロチアニジン 0.80%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	イソチアルを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稻	いもち病 イネスズウムシ イネトヨイシ	1 kg/10 a	は種時	1回	は種同時施肥機を用いて土中施用する。	4回以内(は種時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(は種時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネスズウムシ イネトヨイシ ウカ類 ツマグロヨコバイ イネヒメガキ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	4回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					
		育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種時 (覆土前)~ 移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					
	イネカサネ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					
	苗立枯細菌病 苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。		
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					
育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g		は種時 (覆土前)	育苗箱の上から均一に散布する。				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クチアジンを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯細菌病 苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)	は種時 (覆土前)	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
稲	いもち病 いもろこしうどんこ病 いもろこしうどんこ病	1 kg/10 a	移植時	1回	側条施用	4回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)

3. 登録番号 22701 : ルーチン粒剤、
登録番号 22702 : クミアイルーチン粒剤
(イソチアニル 3.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソチアルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1箱当り 50 g	は種前	1 回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)		育苗箱の床土に均一に混和する。			
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)		育苗箱の覆土に均一に混和する。			
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病		育苗箱の上から均一に散布する。			
	いもち病 白葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病			は種時(覆土前)~移植当日		
	稲			いもち病 白葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	1 kg/10 a	

4. 登録番号 22703 : ルーチンアドマイヤー箱粒剤、
登録番号 22704 : クミアイルーチンアドマイヤー箱粒剤
(イミダクロプリド 2.0%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	内穎褐変病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	白葉枯病 もみ枯細菌病		は種時 (覆土前) ～ 移植当日				
	いもち病 イネメハモグリバエ イネミズヅウムシ イネトヨイムシ ツマクハロヨコバイ ウンカ類		は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。		
			は種時 (覆土前) ～ 移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
	イネアザミウマ				育苗箱の床土に均一に混和する。		
			は種前				

5. 登録番号 22705 : ルーチンアドスピノ箱粒剤

(イミダクロプリド 2.0%・スピノサド 1.0%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	スピノサドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネザミマ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 2 日前 ～移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病		移植当日					
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病		は種時 (覆土前)					
	白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウカ類 ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリハエ イネツトムシ フタホヒコヤガ コブノメカガ ヒカメテユウ いもち病		は種時 (覆土前)～ 移植当日					
	イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウカ類 ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリハエ イネツトムシ フタホヒコヤガ コブノメカガ ヒカメテユウ いもち病		は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。			
	イネザミマ		移植 2 日前 ～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。			
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病		移植当日					
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病		は種時 (覆土前)					
	白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウカ類 ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリハエ イネツトムシ フタホヒコヤガ コブノメカガ ヒカメテユウ いもち病	高密度には種 する場合は 1 kg/10 a (育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当り 50～100 g)	は種時 (覆土前)～ 移植当日					

6. 登録番号 22706 : ルーチンアドスピノ G T 箱粒剤、

登録番号 23039 : シャリオ箱粒剤

(イミダクロプリド 2.0%・スピノサド 1.0%・イソチアニル 2.0%・チフルザミド 3.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	スピノサドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネツトムシ ニカメイチュウ イネミスゾウムシ イネトモイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメカガ フタホシコヤカ いもち病 紋枯病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 2 日前~ 移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	1 回	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	もみ枯細菌病 内穎褐変病		移植 当日						

7. 登録番号 22707 : ルーチンバリアード箱粒剤

(チアクロプリド 1.5%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアクロプリドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネトモイムシ イネミスゾウムシ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ いもち病	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種前	1 回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	1 回	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	白葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)		は種時(覆土前)~ 移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)		は種時(覆土前)				
	もみ枯細菌病		移植当日				

8. 登録番号 22708 : ツインターボフェルテラ箱粒剤

(クロチアニジン 1.5%・クロラントラニリプロール 0.75%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	クロラントリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病 イネミズウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタホシコヤカ イネツトムシ コブノメイガ 内穎褐変病	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種時 (覆土前)~移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	4 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人へ散布は合計 3 回以内)	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)						
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種時 (覆土前)					
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)						
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種前		育苗箱の床土に均一に混和する。			
	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病				育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。			
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)	育苗箱の床土に均一に混和する。						
	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。						

9. 登録番号 22915 : ルーチントレス箱粒剤

(イミダクロプリド 2.0%・クロラントラニリプロール 0.75%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種前	1 回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	1 回	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	イネアサミマ イネツトムシ ツマグロヨコバイ ウナカ類 イネヒメハモグリハエ イネミスゾウムシ イネトヨイムシ コブノメイガ ヒカメイチュウ フタホシコヤカ いもち病		は種時 (覆土前)~ 移植当日		育苗箱の上から均一に散布る。			
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病 もみ枯細菌病		は種時 (覆土前)					
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)		移植当日					
	内穎褐変病							

10. 登録番号 23033：箱いり娘粒剤

(クロチアニジン 1.5%・スピネトラム 0.50%・イソチアニル 2.0%・フラメトピル 4.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	スピネトラムを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	フラメトピルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 イネトモイシ イネスズウムシ ニカメイチュウ	1 kg/10 a	移植時	1回	側条施用	4回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内)
湛水直播 水稻	いもち病 紋枯病 イネスズウムシ イネトモイシ ニカメイチュウ フタホコヤカ イネツムシ キラウシガガンボ	1 kg/10 a	は種時	1回	は種同時 施薬機を用いて土中施用する。	4回以内(は種時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内(は種時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(は種時までの処理は1回以内)
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) ウカ類 ツマグロヨコバイ コブノメガ フタホコヤカ イネスズウムシ イネトモイシ イネツムシ ニカメイチュウ イネヒメハダカバエ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g 高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)	移植7日前~移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(移植時までの処理は1回以内)

1 1. 登録番号 23186 : スタウト顆粒水和剤
(イソチアニル 40.0%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 白葉枯病	200 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 500 mL	は種時覆 土前~移植 当日	1 回	灌注	3 回以内(移植時までの 処理は 1 回 以内、本田 では 2 回以 内)
		高密度には種する 場合は 50 g/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱 当り 2.5~5 g(希釈倍 数 100~200 倍))					
		400 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 1000 mL				
		高密度には種する 場合は 50 g/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱 当り 2.5~5 g(希釈倍 数 200~400 倍))					
	苗腐敗症(も み枯細菌病 菌)	200 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 500 mL	は種時覆 土前			
		高密度には種する 場合は 50 g/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱 当り 2.5~5 g(希釈倍 数 100~200 倍))					
		400 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 1000 mL				
		高密度には種する 場合は 50 g/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱 当り 2.5~5 g(希釈倍 数 200~400 倍))					

12. 登録番号 23195 : ルーチンフロアブル
(イソチアニル 18.3%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病	75~100 倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 0.5 L	移植 3 日前~移植当日	1 回	灌注	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	もみ枯細菌病	75 倍					
稲	いもち病	原液	100 mL/10 a	移植時		ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	3 回以内(直播では種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)

1 3. 登録番号 23206 : スタウトダントツ顆粒水和剤、
登録番号 23207 : ツインターボ顆粒水和剤
(クロチアニジン 15.0%・イソチアニル 20.0%水和剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の使用 回数	使用方法	クロチアニジンを含む農 薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用 回数
稲	いもち病 イネノメイシ イネミズウムシ	100 g/10 a	移植時	1 回	ペースト肥料 に混合し 側条施肥 田植機で 施用する。	4 回以内(直播での は種時又は移植時 までの処理は 1 回 以内、本田での散 布、空中散布、無人 航空機散布は合計 3 回以内)	3 回以内(直播 での種時又は 移植時までの 処理は 1 回 以内、本田で は 2 回以内)

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用 時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	クロチアニジンを含 む農薬の 総使用回数	イソチアニルを含 む農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネノメイシ イネミズウムシ	100 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、使用 土壌約 5 L)1 箱 当たり 500 mL	移植 3 日 前~移 植当 日	1 回	灌注	4 回以内(移 植時までの 処理は 1 回 以内、本田で の散布、空中 散布、無人航 空機散布は 合計 3 回以 内)	3 回以内(移 植時までの 処理は 1 回 以内、本田で は 2 回以内)
		高密度には種する場 合は 100 g/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 5~10 g(希釈 倍数 50~100 倍))						

1 4. 登録番号 23458 : エバーゴルフオルテ箱粒剤

(イミダクロプリド 2.0%・イソチアニル 2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ いもち病 紋枯病	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり 50 g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	1回
	は種時(覆土前)~移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。					
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病	移植当日						
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり 50~100 g)			移植3日前~移植当日			
	白葉枯病 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ いもち病 紋枯病							

15. 登録番号 23459 : エバーゴルワイド箱粒剤、
登録番号 23627 : エバーゴルプラス箱粒剤
(イミダクロプリド 2.0%・クロラントラニリプロール 0.75%・イソチアニル
2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病 内穎褐変病	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り50 g	は種時(覆土前)~移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	1回
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) もみ枯細菌病		移植当日						
	イネトオロイシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ フタホシコヤカ いもち病 紋枯病		は種時(覆土前)~移植当日		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。				
	は種前	育苗箱の上から均一に散布する。							
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病 内穎褐変病		高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り50~100 g)		移植3日前~移植当日				
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) もみ枯細菌病				移植当日				

16. 登録番号 23511：箱王子粒剤

(クロチアニジン 1.5%・スピネトラム 0.50%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤 の使用 回数	使用 方法	クロチアニジン を含む農 薬の総使 用回数	スピネトラム を含む農 薬の総使 用回数	イソチアニルを 含む農薬 の総使用 回数
湛水直 播水稻	いもち病 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ コメイチユ フタホコヤカ イネツトムシ キリウジガガン ホ	1 kg/10 a	は種時	1 回	は種同 時施薬 機を用 いて土 中施用 する。	4 回以内 (は種時ま での処理 は 1 回以 内、本田 での散 布、空中 散布、無 人航空機 散布は合 計 3 回以 内)	3 回以内 (は種時ま での処理 は 1 回以 内、本田 での散布 は 2 回以 内)	3 回以内 (は種時ま での処理 は 1 回以 内、本田 では 2 回 以内)
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌 病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネトヨイムシ コメイチユ フタホコヤカ コブノメカ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	は種前	1 回	育苗箱 の床土 又は覆 土に均 一に混 和する。	4 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 での散 布、空中 散布、無 人航空機 散布は合 計 3 回以 内)	3 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 での散布 は 2 回以 内)	3 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 では 2 回 以内)
		高密度には種 する場合は 1 kg/10 a(育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)						
		育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	は種時 (覆土 前)~移植 当日		育苗箱 の上か ら均一 に散布 する。			
		高密度には種 する場合は 1 kg/10 a(育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)						
	イネヒメモグリ バエ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	移植 3 日前~移 植当日					
高密度には種 する場合は 1kg/10a(育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)								

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤 の使 用回 数	使用 方法	クロチアニジン を含む農 薬の総使 用回数	スピ [®] ネラム を含む農 薬の総使 用回数	イソチアルを 含む農薬 の総使用 回数
稲 (箱育苗)	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	は種前	1 回	育苗箱 の床土 又は覆 土に均 一に混 和する。	4 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 での散 布、空中 散布、無 人航空機 散布は合 計 3 回以 内)	3 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 での散布 は 2 回以 内)	3 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 では 2 回 以内)
		高密度には種 する場合は 1kg/10a(育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)						
		育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	は種時 (覆土前)		育苗箱 の上か ら均一 に散布 する。			
		高密度には種 する場合は 1kg/10a(育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)						

17. 登録番号 23570 : スタウトパディート箱粒剤、
登録番号 23571 : ルーチンデュオ箱粒剤、
登録番号 23621 : ツインパディート箱粒剤、
登録番号 23622 : ルーチンパンチ箱粒剤
(シアントラニプロール 0.75%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネミズウムシ イネトヨイシ	1 kg/10 a	移植時	1 回	側条施用	1 回	3 回以内(直播では種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズウムシ イネトヨイシ フタホコヤガ ニカメイチュウ ツマゲロヨコバイ イネツトムシ コブノメカ イナゴ類 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネヒメモグリハエ ヒメトビウナ 苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	は種前	1 回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	1 回	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)						
	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズウムシ イネトヨイシ フタホコヤガ ニカメイチュウ ツマゲロヨコバイ イネツトムシ コブノメカ イナゴ類 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネヒメモグリハエ ヒメトビウナ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	は種時(覆土前)~移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
	高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)						
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g 高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)					

18. 登録番号 23634：ルーチンエキスパート箱粒剤

(イミダクロプリド 2.0%・スピノサド 1.0%・イソチアニル 2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	スピノサドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタホシコヤガ コメテウ イネツトムシ いもち病 紋枯病 白葉枯病 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱 当り 50 g	は種時 (覆土前)~移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布は 2 回以内)	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	1 回
		高密度には種する場合は 1kg/10a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)	移植 3 日前~移植当日						
	もみ枯細菌病	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱 当り 50 g	移植当日						

19. 登録番号 23890 : 箱大臣粒剤

(クロチアニジン 1.5%・イソチアニル 2.0%・フラメトピル 4.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	フラメトピルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 イネミズウムシ イネトヨイムシ	1 kg/10 a	移植時	1回	側条施用	4回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内)
湛水直播水稻	いもち病 紋枯病 イネミズウムシ イネトヨイムシ キリウシガガンボ	1 kg/10 a	は種時	1回	は種同時施薬機を用いて土中施用する	4回以内(は種時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(は種時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(は種時までの処理は1回以内)
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 イネミズウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマゲロヨコバイ ニカメイチュウ フタホシコヤカ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50 g 高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50~100 g)	移植 7日前~ 移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する	4回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(移植時までの処理は1回以内)

20. 登録番号 24027：ハコナイト粒剤

(クロチアニジン 1.5%・フィプロニル 1.0%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを 含む農薬の 総使用回数	フィプロニルを含 む農薬の 総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用 回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉 枯病菌) 内穎褐変病 イネミズウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 コブノメイガ イナゴ類 イネトヨイムシ フタホシコヤガ ニカメイチュウ イネツトムシ	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種前	1回	育苗箱の 床土又は 覆土に均 一に混和 する	4回以内(移 植時までの 処理は1回 以内、本田 での散布、 空中散布、 無人航空機 散布は合計 3回以内)	1回	3回以内(移植 時までの処理 は1回以内、本 田では2回以 内)
		高密度には種する場合 は1 kg/10 a(育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約5 L)1箱当り 50~100 g)						
		育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種時 (覆土前)~ 移植当日		育苗箱の 上から均 一に散布 する			
		高密度には種する場合 は1 kg/10 a(育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約5 L)1箱当り 50~100 g)						

2 1. 登録番号 24029 : ルーチンブライト箱粒剤

(シアントラニリプロール 0.75%・イソチアニル 2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 もみ枯細菌病 紋枯病 白葉枯病 内穎褐変病 イネノオミシ イネツムシ ニカメチュウ フタホビコヤガ コブノメイガ イネミスゾウムシ ツマグロヨコバイ イネコシテ ヒメトビウンカ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種時(覆土前)~ 移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	1 回
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) イネヒメモグリハエ	高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)	移植 3 日前~ 移植当日					
		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 当日					

2 2. 登録番号 24128 : スクラム箱粒剤

(クロラントラニプロール 0.75%・トリフルメゾピリム 0.75%・イソチアニル 2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウカ類 ツマグロコハヤ ゴブノメカ フタヒコヤガ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50 g	は種時 (覆土前)~移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	1回
	もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50 g							
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) イネツムシ イネトヨイムシ イネミスズムシ ニカメテユウ	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50~100 g)	移植3日前~移植当日						

2 3. 登録番号 24129 : 防人箱粒剤

(クロラントラニプロール 0.75%・トリフルメゾピリム 0.75%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネミズゾウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマゲロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメカガ フタホシコヤカ イネツトムシ	育苗箱30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種時(覆土前)~ 移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する	1回	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50~100 g)						
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50 g	は種時(覆土前)					
稲	いもち病 ウンカ類 コブノメカガ	1 kg/10 a	移植時		側条施用			3回以内(直播での種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)

2 4. 登録番号 24130 : 箱維新粒剤、

登録番号 24131 : 箱将軍粒剤

(クロラントラニプロール 0.75%・トリフルメゾピリム 0.75%・イソチアニル 2.0%・フラメトピル 4.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 白葉枯病 イネミズウムシ イネトヨイムシ ウカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネトムシ アオビコヤカ コブノメイガ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50 g	移植7日前～ 移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当り 50～100 g)			

クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む 農薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用回数	フラメトピルを含む 農薬の総使用回数
1回	1回	3 回以内(移植時までの 処理は 1 回以内、本田 では 2 回以内)	2 回以内(移植時までの 処理は 1 回以内)

25. 登録番号 24132：フルスロツトル箱粒剤

(シアントラニリプロール 0.75%・トリフルメゾピリム 0.75%・イソチアニル 2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 ウカ類 ツマク [®] ロヨコバイ イネミスゾウムシ イネト [®] ロイムシ コブノメイガ [®] コメイチュウ フタホシコヤカ [®] イネツトムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種時(覆土前) ~移植当日	1 回	育苗箱の上から 均一に散布する。
	高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当り 50~100 g)				
	内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉 枯病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) イコ [®] 類	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植当日		
	高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当り 50~100 g)				

シアントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む 農薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む 農薬の総使用回数
1 回	1 回	3 回以内(移植時までの処 理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	1 回

26. 登録番号 24158 : ルーチンコア箱粒剤

(チアクロプリド 1.45%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアクロプリドを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネトオムシ イネヒメハモグリバエ ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 3 日前 ~移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	1 回	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)					

27. 登録番号 24194 : ルーチンシード F S

(イソチアニル 41.7%水和剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 いもち病	乾燥種もみ 1 kg 当り 原液 6~12 mL(原液 71 mL/10 a まで)	は種前	1 回	塗沫処理	3 回以内(直播での種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)

28. 登録番号 24319 : ヨーバルトップ箱粒剤

(テトラニプロール 1.5%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 イネトモイシ ツマグロヨコバイ コブノメイガ イネツトムシ コメイチユ イネミスズウムシ フタホシコヤガ イナゴ類 苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~75 g	は種前	1 回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)
	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 イネトモイシ ツマグロヨコバイ コブノメイガ イネツトムシ コメイチユ イネミスズウムシ フタホシコヤガ イナゴ類	高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)	は種時(覆土前)~移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病		は種時(覆土前)				
		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~75 g					
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネヒメハモグリバエ	高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)					

29. 登録番号 24473：ミネクトプラスター顆粒水和剤

(シアントラニリプロール 15.0%・イソチアニル 40.0%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネトモイシ イネミズゾウムシ コメイチユ イネツムシ フタホコヤカ イコ類 もみ枯細菌病 内穎褐変病	200 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約 5 L) 1 箱 当り 0.5 L	は種時 ～移植 当日	1 回	灌注	1 回	3 回以内 (移植時 までの処 理は 1 回 以内、本 田では 2 回以内)
	いもち病 イネトモイシ イネミズゾウムシ コメイチユ	400 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約 5 L) 1 箱 当り 1 L	は種時				
	いもち病 イネトモイシ イネミズゾウムシ コメイチユ イネツムシ フタホコヤカ イコ類 もみ枯細菌病 内穎褐変病	高密度には種 する場合は 50 g/10 a(育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 2.5~5 g(希釈倍 数 100~200 倍))	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約 5 L) 1 箱 当り 0.5 L	移植 10 日前~ 移植当 日				

30. 登録番号 24474：ヨーバルパワーE V箱粒剤

(テトラニプロール 1.5%・ピメトロジン 3.0%・イソチアニル 2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 イネトオムシ イネミスズムシ ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ フタホシコヤカ ツマゲロコハバイ イネヒメモグリハエ ウンカ類 イナゴ類	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	は種時(覆土前) ～移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に 散布する。
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)			
	内穎褐変病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L)1 箱当り 50 g	移植 3 日前 ～移植当日		

テトラニプロールを含む 農薬の総使用回数	ピメトロジンを含む 農薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む 農薬の総使用回数
1 回	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	3 回以内(移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	1 回

3 1. 登録番号 24475 : ヨーバルプライム E V 箱粒剤

(テトラニプロール 1.5%・イソチアニル 2.0%・ペンフルフェン 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミズウムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種前	1 回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	1 回	3 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	1 回
	いもち病 イネミズウムシ 紋枯病 白葉枯病 イネトヨイムシ コメチユウ コブノメカ イネツムシ フタホシコガ ツマクノコバ イネハモグリバエ イナゴ類	高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)	は種時(覆土前)~ 移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。			
	内穎褐変病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 3 日前~ 移植当日					
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当り 50~100 g)						

3 2. 登録番号 24476 : ヨーバルUG箱粒剤

(テトラニプロール 1.5%・ピメトロジン 3.0%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニプロールを含む農薬の総使用回数	ピメトロジンを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 いねもちいし いねみづうみ こめいし こめいし いねもち ふたばこや つまぐろこや いねもち いねもち いねもち	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壤約 5 L) 1 箱当り 50 g	は種時 (覆土 前)~移 植当日	1 回	育 苗 箱 の 上 か ら 均 一 に 散 布 する。	1 回	3 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 では 2 回 以内)	3 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 では 2 回 以内)
	内穎褐変病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	高密度には種 する場合は 1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使用土 壤約 5 L)1 箱当 り 50~100 g)						
		育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壤約 5 L)1 箱 当り 50 g	移植 3 日前~移 植当日					

3 3. 登録番号 24514 : スタウトアレス箱粒剤、

登録番号 24516 : 稲名人箱粒剤

(オキサゾスルフィル 2.0%・イソチアニル 2.0%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサゾスルフィルを含む農薬の総使用回数	イチアールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 いねみづうみ いねとろいみ いねめいぢゅう	1 kg/10 a	移植時	1回	側条施用	1回	3回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 いねみづうみ いねとろいみ うんか類 つまぐろこハイ いねめいぢゅう ふたねこやが いねつみ こぼろめい いねこ類 いねめいぢゅう	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50~100 g)					
		育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種時 (覆土前)~ 移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
		高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50~100 g)					
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。		
		高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					
		育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50 g	は種時 (覆土前)		育苗箱の上から均一に散布する。		
		高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					

3 4. 登録番号 24597：ミネクトフォルスターSC

(シアントラニプロール 6.5%・イソチアニル 17.4%・ペンフルフェン 17.4%水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方 法	シアントラニプロールを含む農薬の 総使用回数	イソチアニルを含む農薬の 総使用 回数	ペンフルフェンを含む農薬の 総使用 回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネトリメイシ イネミズウムシ ニカメイチュウ 紋枯病	100 倍	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約 5 L) 1 箱当り 0.5 L	移植 10 日 前~移 植当日	1 回	灌注	1 回	3 回以内 (移植時ま での処理 は 1 回以 内、本田 では 2 回 以内)	1 回
	いもち病 イネトリメイシ イネミズウムシ ニカメイチュウ 紋枯病	高密度には種する場 合は、100 mL/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 5~10 mL (希釈倍数 50~100 倍))	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土 壌約 5 L) 1 箱当り 0.5 L	移植 10 日 前~移 植当日	1 回	灌注			

3 5. 登録番号 24615 : スタウトアレスモンガレス箱粒剤、

登録番号 24616 : 稲大將箱粒剤

(オキサゾスルフィル 2.0%・イソチアニル 2.0%・インピルフルキサム 2.0%粒剤)

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	オキサゾスルフィルを 含む農薬の 総使用回数	イソチアニルを 含む農薬の 総使用回数	インピルフルキサム を含む農薬 の総使用回 数
稲 (箱育苗)	イネミスズウムシ イネトヨイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタホシコヤカ イネツトムシ コブノメカ イコ類 いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉 枯病菌) 内穎褐変病 紋枯病	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当り 50 g	は種前(覆 土前)~ 移植当日	1 回	育苗箱 の上か ら均一 に散布 する	1 回	3 回以内(移 植時までの 処理は 1 回 以内、本田 では 2 回 以内)	1 回
	高密度には種する 場合は 1 kg/10 a(育 苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)							
	苗立枯細菌病 苗腐敗症(もみ 枯細菌病菌)	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当り 50 g	は種前(覆 土前)					
		高密度には種する 場合は 1 kg/10 a(育 苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)						
稲	いもち病 紋枯病	1 kg/10 a	移植時		側条 施用		3 回以内(直 播では種 時又は移植 時までの処 理は 1 回以 内、本田で は 2 回 以内)	